

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 7. 6

下水道機構の『新技術情報』 第196号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

活発な梅雨前線。明日は織姫と彦星は出会うことができるのでしょうか。関東でも先週から降り続く雨で道路の冠水など浸水被害が発生しているようです。台風9号の動きも気になります。今後の気象情報に十分にお気を付け下さい。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第196号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・【専用サイト登録者の皆様へ】メルマガへの投稿システムを始めました！
- ・【訂正】先週号掲載の機構の動きに誤りがありました

■機構の動き

- ・今週は、7/7(木)汚泥理技術共同研究委員会、第3審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・乗り物あれこれ (研究第二部 M.Aさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、研究第一部の芹沢主任研究員から「ミラノ万博情報」をお届けします

■国からの情報

- ・7/3付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。○。

●【専用サイト登録者の皆様へ】メルマガへの投稿システムを始めました！

当機構メールマガジンではこれまでも皆様からの投稿を募集していましたが、簡単に、お気軽にご投稿いただけるように、専用サイト内にて投稿システムの運用を開始しました！これからも皆様と一緒に、双方方向のメールマガジンを作っていきたい

と思います！どうぞお気軽にご投稿ください。

★投稿に際しての注意事項★

- ① 記事は全体で 400 字以内。
- ② 写真等の画像は 5 点まで可能。1 データ 2MB 以内。
- ③ 画像がない場合もしくは 1 枚の場合、記事は 1 つ目の記事欄に記載してください。
- ④ 画像が 2 枚以上の場合、その説明を 2 つ目以降の記事欄に記載してください。
- ⑤ メールマガジンの配信は週 1 回(月曜日)となっており、投稿数が多い場合は、掲載までにお時間を要する場合がありますので、ご了承ください。
- ⑥ 営利目的の投稿はご遠慮ください。

※なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

※専用サイトへご登録いただける方

⇒公共団体等の方、下水道機構の出損団体、賛助会員の方

※出損団体、賛助会員名簿はこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/about/supportingmembers>

※専用サイトのログイン、新規登録はこちら

⇒ <http://www.jiwet.or.jp/member-login>

●【訂正】先週号掲載の機構の動きに誤りがありました

先週号にて、7/7(火)開催の委員会を「汚泥処理新技術実用化評価委員会」と記載しておりましたが、正しくは「汚泥処理技術共同研究委員会」です。訂正しお詫びいたします。

。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○○。

●平成 27 年 7 月 7 日(火) 10:30~17:30

行 事：平成 27 年度第 1 回第 3 審査証明委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：平成 27 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各技術について

○平成 27 年 7 月 7 日(火) 15:00~17:30

行 事：平成 27 年度第 1 回汚泥処理技術共同研究委員会

場 所：機構 8 階 中会議室

案 件：①嫌気性消化法の導入マニュアル策定に関する共同研究

②消化ガス発電普及のための導入マニュアル策定に関する共同研究

③省エネ型汚泥処理システムの構築に関する共同研究

○平成 27 年 7 月 9 日(木) 13:00~17:30

行 事 : 平成 27 年度 第 1 回 第 4 審査証明委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : 平成 27 年度 建設技術審査証明 (下水道技術) の各技術について

○平成 27 年 7 月 9 日(木) 17:00~18:00

行 事 : 第 339 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 横浜ウォーター株式会社

技術部門 (下水道担当マネージャー) 小林 史幸

テーマ : 「上下水道一体となった国内外事業展開の取組

~信頼されるパートナー企業として~」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●乗り物あれこれ (研究第二部 M.A さんからの投稿です)

東京に転勤してから早 2 年と 3 カ月が過ぎました。前職場は都心部ではなかったことから車を使用する機会が多かったのですが、こちらでは電車の利用が圧倒的に多くなりました。

乗り物といえば、電車・車・バイク等色々思いつきますが、運が良ければあまりお目にかかれないモノに乗れることもあります。6 月中旬に横須賀市で「よこすか YY のりものフェスタ 2015」というイベントが開催されました。海上自衛隊横須賀地方総監部にて、最近就役した護衛艦「いずも」に幸運にも乗艦することができました。

同日に三笠公園では、横須賀市上下水道局の災害二輪調査隊のバイク (トライアルバイク) が展示されていました。隊員の方々が身に着けておられた鮮やかな青色を基調としたユニフォームがカッコよく、子供たちに大人気でした。バイクは機動性が良く、災害現場で活躍できるとのことでした。このようなイベントを利用した広報は、下水道関係者の活動内容等を一般の方々に知って頂く良い機会だと感じました。

さて今月末には下水道展が開催されます。より多くの皆様に下水道機構の活動内容を知って頂けるように微力ながら努力したいと思います。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回は、研究第一部の芹沢主任研究員から「ミラノ万博情報」をお届けします

→ <http://www.jiwet.or.jp/archives/yuimaru/2015-7-6>

*/**/*

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



※テキストは原則 400 字以内。写真等はA 4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

*/**/*

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2015. 7. 3 付 国からの最新情報です）
送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀
=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の平成 24, 25 年度採択 3 技術のガイドライン説明会を開催します！【国土交通省国土技術政策総合研究所】
- 都道府県による浸水対策に係る市町村下水道職員向けの勉強会等の開催概要について【(公社) 日本下水道協会】
- WEF(米国水環境連盟)のホームページで会長の日本出張報告が掲載されました。【(公社) 日本下水道協会】
- 7/29 アジアセッション開催のお知らせ【(公社) 日本下水道協会】

○下水道部関係人事（7 / 1）

- 都市局都市計画課企画専門官 竹内浩一郎（下水道企画課企画専門官）
- 下水道企画課企画専門官 柄本徳満（都市局街路交通施設課長補佐）
- 環境省総合環境政策局環境影響評価課指導係長 安陪達哉（下水道企画課資源利用係長）
- 下水道企画課資源利用係長 和田直樹（環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課化学物質対策係長）
- 都市局総務課企画調整係 岡本駿祐（下水道事業課予算係）
- 下水道事業課予算係 山下大地（都市局総務課総務人事係）

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）の平成 24, 25 年度採択 3 技術のガイドライン説明会を開催します！【国土交通省国土技術政策総合研究所】

国土交通省国土技術政策総合研究所では、国土交通省下水道部とともに、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）を行っているところですが、平成 24、25 年度にスタートした実証事業のうち下記 3 技術に関しまして、研究成果を踏まえ、下水道事業者が革新的技術の導入を検討する際のガイドラインを近日中に刊行する予定です。そこで、下水道展の併催企画として、以下の要領でガイドライン説明会を開催しますので、ご参加を希望される場合には、7 月 24 日（金）までに、

b-dash@nilim.go.jp

まで、代表者名（団体名）及び出席予定人数をご連絡下さい。

[対象技術]

- ・脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水污泥エネルギー転換システム
- ・下水道バイオマスからの電力創造システム
- ・温室効果ガスを排出しない次世代型下水污泥固形燃料化技術

[説明会要領]

- ・日時：7 月 30 日（木）9:30～12:00
- ・会場：東京ビッグサイト会議棟 701、702 会議室
- ・募集人数：先着 100 名（当日申込も可能ですが、申込多数の場合、ご希望に添えないことがあります）

http://www.nilim.go.jp/lab/ecg/bdash/bdash_guidlinesetsumeikai.htm

●都道府県による浸水対策に係る市町村下水道職員向けの勉強会等の開催概要について

【（公社）日本下水道協会】

（公社）日本下水道協会に設置している都道府県委員会では、下水道事業に係る都道府県における諸問題について調査審議し、都道府県間の連絡調整を図ることを目的に活動しております。平成 26 年度から当委員会に「浸水対策都道府県ワーキング」を設置し、都道府県及び市町村の雨水対策を推進するための戦略等を審議しています。平成 26 年度の議論の成果として、都道府県がリーダーシップを発揮して実施する取組内容を整理しました。この取り組み内容の一つとして「都道府県による市町村下水道職員向けの勉強会等の枠組みの構築」が挙げられています。このことを踏まえ、平成 27 年度から、全都道府県において、浸水対策に係る市町村下水道職員向けの勉強会等の枠組みの構築を行っていただくこととなりました。今年度の取組状況について情報共有を行うため、このたび、日本下水道協会の会員向け HP 「会員交流の広場」において、勉強会等を実施した各都道府県の取組みについて、その概要を掲出することとしました。勉強会の開催事例の蓄積を図るとともに、都道府県等間での情報共有など取り組み内容がより良いものとなるよう積極的に活用されれば幸いです。概要は、日本下水道協会のホームページ内「会員交流の広場」で閲覧可能（（公社）日本下水道協会の会員等のみ閲覧可能）となっています。当案件に係るお問合わせは、（公社）日本下水道協会企画調査部経営調査課（電話 03-6206-0279）までお願いします。

●WEF(米国水環境連盟)のホームページで会長の日本出張報告が掲載されました。

【(公社)日本下水道協会】

4月の「日米下水道シンポジウム」で講演した、WEF 会長エド・マコーミック氏が WEF 会員向けに日本出張報告を公開しました。以下のリンク先からご参照下さい。

<http://news.wef.org/from-the-president-how-global-partnerships-help-wef-achieve-its-mission/>

●7/29 アジアセッション開催のお知らせ【(公社)日本下水道協会】

下水道展'15 東京及び第 52 回下水道研究発表会に併せて、東京ビッグサイトにて、本会会員様を対象に開催致します。「高度処理の現状と課題」をテーマに、5ヶ国の代表者から講演をいただきます。参加無料、同時通訳がありますので、是非ご出席下さい。詳細は以下のリンク先からご参照下さい。

<http://www.jswa.jp/wp/wp-content/uploads/2015/05/ede7585ecf1e2ba563cb74cb9e73f525.pdf>

=====

◆日本発！くらしを支える底力 「下水道展'15 東京」、来場事前登録を開始！〈6/22 財経新聞〉

<http://www.zaikei.co.jp/releases/262660/>

◆シシリアンライス、B-1 グランプリ 4 回目 〈6/21 佐賀新聞〉

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga/10105/199829>

◆県内、各地で激しい雨 1 万世帯余に避難勧告 〈6/24 信濃毎日新聞〉

<http://www.shinmai.co.jp/news/20150624/KT150623FTI090048000.php>

◆横浜市庁舎予定地にレンガ遺構 調査開始へ 〈6/25 読売新聞〉

http://www.yomiuri.co.jp/local/kanagawa/news/20150624-0YTNT50352.html?from=ycont_top_photo

◆8メートル津波で原発浸水予測 福島第一 99 年に国が作図 〈6/25 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/politics/news/CK2015062502000239.html>

◆防げ 河川洪水浸水 白山 事務所職員が排水訓練 〈6/27 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/20150627/CK2015062702000046.html>

◆来るか水素社会(下) 産学官連携 育成後押し 〈6/29 河北新報社〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201506/20150629_73018.html

◆「水素社会」へ取り組み加速 〈6/30 公明新聞〉

https://www.komei.or.jp/news/detail/20150630_17391

◆兵庫・三宮南地区の浸水対策ほぼ完了 〈6/30 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150630/rgn1506300037-n1.html>

◆巨大地下雨水管の整備スタート 福岡市、浸水被害抑制へ [福岡県] 〈7/1 西日本新聞〉

http://www.nishinippon.co.jp/nnp/f_toshiken/article/179091

◆京都の真ん中に他市のマンホール 流用、祇園祭前に撤去 〈7/3 京都新聞〉

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20150421/>
